

## シンポジウム 2-3 (歯周治療・形成外科)

### ペリオドンタルマイクロサージェリーの真実

松川 敏久

松川歯科クリニック (奈良県)

近年、歯周外科治療は緻密な精度が求められてきておりマイクロスコープ下での治療が注目されてきている。口蓋側結合組織採取や縫合などはマイクロスコープ下での処置を行うことにより、痛みを少なくし早期治癒を可能とする。治療予後は良好で外科的侵襲も少ないと考える。今回は、C.G.T (connective tissue graft) を中心に形成外科症例などを紹介したい。

1990年 大阪歯科大学卒業

1994年 東大阪市 本多歯科医院勤務

2001年 奈良県橿原市にて松川歯科医院開業

2003年 大阪 SJCD 副会長 兼 インストラクター

2004年 日本顕微鏡歯科学会 評議委員, Carl Zeiss 公認インストラクター

2010年 大阪 SJCD 会長